

第 55 回 久留米高専

体育祭

目次

校長挨拶	2
実行委員長挨拶	3
プログラム	4
競技説明	5
実行委員名簿	7
配置図	8
各学科代表挨拶	9

校長挨拶

久留米工業高等専門学校

校長 本庄春雄

今年は第55回目の体育祭となった。コロナ禍にもかかわらず開催までこぎつけた実行委員会初め関係各位に祝意を表する。最終学年の学生に寂しい想いをさせる訳には行かないし、歴史ある体育祭を中止にする訳には行かない。実行委員会の熱意を共有したい。

テーマは Distance である。既に、世界中が distance に配慮した生活を余儀なくされているが、体育祭では一層の対応が求められる。おかんが言うように、工夫すれば体育祭といえども開催出来るということだ。distance は競技者間の距離、学科間の距離、学校と社会との距離など、様々な意味合いを含む。社会を構成する人々の人間関係は微妙な“距離感”に左右されるが、それは“距離間”に端を発する。今年の体育祭のテーマからは様々な妄想に至る、また、楽しからずや。

個人競技、団体競技、応援合戦など、他者と競うと同時に仲間との協力が問われる。競争と共創はグローバル化された現代社会を表すキーワードだが、体育祭はその縮図でもある。少しは気にするが、順位は問わないことにしよう。これまでの努力、実力が充分に発揮されることが大切だ。結果そのものよりは、それに至るプロセスがはるかに重要だ。近代オリンピックの創設クーベルタン男爵の演説の一部である「オリンピックは参加することに意義がある」との真意はそこにある。

結びに、体育祭が参加者の感動をもたらし、無事に完了することを願う。コロナ禍での第55回体育祭の成功は学生、保護者、教職員の記憶に強く植え付けられ、本校の歴史に残ることになる。

実行委員長挨拶

体育祭実行委員長

生物応用化学科 5年 高 萌伽

時が経つのははやいもので、気が付くと蟬の鳴き声を耳にしなくなり、校内でも銀杏が色づき、太鼓の音が鳴り響き、秋とともに高専祭の訪れを実感しています。今年は本当に様々なことがありましたが、本年度も体育祭を開催できますこと、この上なく喜ばしい限りです。校長先生や先生方、学生課・保健室の職員の皆様、保護者の方々、また地域の方々にはお力添えをいただきまして、心より感謝申し上げます。

さて、今年度の体育祭スローガンは「Distance `おかんが言うには体育祭あるらしいんよ… ほな、コロナとちゃうか～`」です。そうです、某お笑い芸人さんのあのフレーズですね。伏せたうえで限界まで近づけると「牛乳少年」とでも表したら良いのでしょうか。現在、「Distance」というワードを日常生活で耳にたこができるくらい耳にしますし、実際に人との距離をとることが当たり前の生活を送っています。Teams を用いたオンライン授業もその一環ですよね。このスローガンには、「気を付けて人との物理的な距離をとろう」という意味は勿論、「同級生、先輩後輩との心の距離は近づけよう」という意味も込められています。

夜須研修や工場見学旅行そして花火大会などの風物詩も含め様々なイベントの中止、登校の延期など、友達と一緒に過ごす時間は勿論、それに伴って友達と思い出を作る機会も減少せざるを得なかったように感じます。例年のような開催時間・内容では行うことはできませんが、この状況下において体育祭を行うことで、皆さんの令和 2 年度の学生生活の思い出に少しでも花を添えられたら、と思っております。

できる限りの準備・対応を体育祭実行委員会一同協力して行っております。青春や思い出はお金では買えませんし、令和 2 年度の体育祭も今回 1 度きりです。このような状況下ではありますが、できる限り楽しんで、新しい体育祭の歴史と一緒に創っていきましょう。

令和 2 年度 第 55 回 久留米工業高等専門学校体育祭 スタートです！！！！！！

プログラム

1	開会式	9:30 ~ 9:50
2	スウェーデンリレー	10:00 ~ 10:30
3	障害物競走	10:45 ~ 12:00
4	昼休み	~ 13:00
5	応援合戦	13:00 ~ 14:10
6	玉入れ	14:15 ~ 14:30
7	学科対抗リレー	14:35 ~ 14:50
8	閉会式	15:00 ~

競技説明

開会式

体育祭最初の競技——「校長講話」

今年度からは九州大学からいらっしゃった本庄春雄校長先生がお話しになりますよ～＾＾

スウェーデンリレー

4人で100m、200m、300m、400mの合計1000mを走る競技です！ちなみにこの競技名の名前の由来は単に、昔スウェーデンで人気があったからです。

障害物競走

注目すべき目玉競技です！

学生たちが一生懸命障害物を乗り越えていく様には心を動かされます！

内容は秘密です！楽しみに！

玉入れ

高専生にしては珍しく微笑ましい競技となっております

温かい目でご覧ください

応援合戦

各学科の応援団が演武、殺陣を披露します。

今日のために日々努力を積んできた彼ら彼女らの勇姿をとくにご覧ください！

学科対抗リレー

毎年、ラストはこの競技！

各クラスの代表が学科の威信をかけて全力疾走をします。最後の最後まで声援を宜しく願いします！！

閉会式

「おかんがな～、体育祭のプログラムの1つを忘れたって言うねんな それがどうしてもわからんのよ」

「体育祭のプログラムの1つを忘れた？ちょっとそれはどんな特徴を教えてや」

「それはな、体育祭の最後を締めるためにあるらしいねん」

「じゃあそれは閉会式やないの 体育祭の最後を締めるためにあるって言ったらそら閉会式しかないやないの 体育祭の最後に閉会式があるって言うのは遠足の最後に先生がお家にたどり着くまでが遠足ですって言うぐらい当たり前のことやないの ほかになにか言うてなかった？」

「おかんが言うにはな、今年は校長先生長々と話さないって言うねん」

「ほな閉会式とちゃうな～ 閉会式やったら校長先生のありがた～いお言葉がきけるって言うてみんな姿勢を正して静かに聞くもんな～ 校長先生の長い長い話を聞いて倒れるっていうのまでが体育祭の醍醐味やないの」

「でもな、おかんは閉会式ではないって言うねん」

「じゃあそれは閉会式ちゃうやないかい」

「んでな、おとんが言うにはな騎馬戦ちゃうかって」

「絶対ちゃうやろ」

どうもありがとうございました～

令和2年度 体育祭実行委員会

実行委員長

5C 高 萌伽

4年生

E 中原 誠俊
C 野呂 剛平
C 今西 剛平

1年生

A 河野 開成
A 山内 雅也
E 伊藤 遼一
E 大田 透人
C 吉良 祐真
C 猫矢 沙絵

3年生

A 金丸 愛心
A 久品 陽菜
S 井口 佑季
S 仲野 晴香
M 有岡 栞太朗
M 木寺 可奈
M 益田 光
M 矢野 優葵
C 植野 太耀
C 篠塚 晶仁

2年生

A 黒川 溪太
E 末續 藍人
E 吉岡 夏毅
S 樋口 颯太
S 前田 隆太
S 森山 瑤
S 濱崎 彩乃
M 満尾 常人
M 緒方 孝公
M 神谷 太一
C 諫山 遥
C 牛島 悠里愛

配置図



- | | |
|----------|---------|
| ① 野球場 | |
| ② テニスコート | ⑥ 来賓テント |
| ③ 武道場 | ⑦ 本部テント |
| ④ 第一体育館 | ⑧ 救護テント |
| ⑤ 用具テント | ⑨ 第二体育館 |

機械科



応援団長 5年 宮原 伊吹

今年は例年通りいかないことだらけで、本当に体育祭はあるのか、
演舞は形になるのか、そんな先の見えない中、団員達は一生懸命練習についてきてくれました。
今年も機械の十八番である扇子を使った演舞は見所です。
少ない練習時間でしたが例年以上の完成度で優勝を獲ります！



看板長 5年 元田 航大

今年の機械科は皆さんもご存知の吾峠呼世晴先生の鬼滅の刃より、我妻善逸を描きました。

機械科の看板優勝はそう多くはありません。今年こそは絶対とるという強い信念を持って制作陣一同は看板制作に望んでいます。なお、この原稿を書いてる時点で編入試験2週間前なのですが、そんなことより体育祭に「全集中」です。

殺陣長 5年 松永 隆三

総合優勝はもちろん機械科が貰います。しかし毎年なかなか取れない援団。

殺陣長になったからには、終わった後に機械の殺陣が1番イカしてたって言われるよう頑張ります。皆で踊ってアクロバット取り入れたりしてるので、間違いなく見応えあります。

電気科



応援団長 5 年 豊田 隆太

こんにちは！電気電子工学科応援団長の豊田隆太です。

電気科はここ 2 年連続最下位と弱小軍団として名を馳せてきました。

昨年に関しては、応援団 4 位、看板 5 位、総合 5 位と散々な結果です。

そこで僕たちは日々クラスで話し合いをし、これまでの電気電子工学科に足りないものを考えました。僕たちに足りなかったもの、それは「周囲を明るくする元気」「周囲を魅了する可愛さ」「周囲を圧倒する力」だったのです。

今年は、その 3 つを身につけ、最強の電気電子工学科に生まれ変わりました。

「電気元気」のスローガンのもと、今年は三冠目指します！

殺陣長 5 年 宝満 竜一

「可愛さこそプリティー」

看板長 5 年 甲斐 稜大

「力こそパワー」



副団長 5 年 井上 暁登
副団長 5 年 高田 隆一
副団長 5 年 村崎 玲也
副団長 5 年 古川 健人
旗手 5 年 江崎 隼矢
旗手 5 年 柳原 瞭
太鼓 5 年 山下 卓也
太鼓 5 年 三木 優
副看板長 5 年 井手 蒼
副殺陣長 5 年 陶山 芽玖
5 年担任 ウリントヤ
4 年担任 原田 裕二郎

「「「がんばります」」」」

生化



我ら生物応用化学科は男女の比率が五分五分と、他の学科からとてもとても羨ましがられる学科です。そんな化学科の見どころは応援団と殺陣です。応援団では、伝統ある桜花疾風の舞、真ん中に集まり迫力ある演舞の残火（団員の間では摩天楼と言われている）が見ものです。殺陣では、今話題の Make you happy を激かわなダンスとともにお届けします。毎年運動種目では、なかなか良い結果をだせていない状況ですが、コロナを吹き飛ばすような勢

いで総合優勝、応援団、看板のトロフィーをかつさらいたいと思います！

団長 古澤 聖太

今年は3蜜を避けながらの演舞と言うかなり厳しい条件ではありますが、去年、一昨年と2年連続で応援団優勝することができているので、しっかりと3連覇成し遂げたいと思います！

副団長 稗田 秋彦

今まで通りの練習とはいきませんが、できる限りのことを尽くします。この5年生最後の年で、今までの集大成となる演舞を披露したいと思います。

副団長 小島 大務

早いものでもう五年生になりましたが、1年生の頃初心を忘れず楽しむこと第一で演舞に臨もうと思います！よろしくお願いします。

副副団長 中村 祥大

4年ぶりの援団なので、周りに遅れを取らないよう練習を重ねてきました。
猛暑やコロナの中、全員で頑張ってきたので、その成果を余す所なく見せたいと思います。

副副団長 小田 晴也

がんばります

旗 行武 創

2～4年の間していなかったなので、全然上手くありません。ですが、他の五年生と比べても見劣りしないように頑張ります。



材料科



材料科団長 過能辰升

私たちが一年生の頃は最下位争いをしていたのがとてもぴえんで、絶対いつか優勝するぞ、と心に誓ったのを覚えています。そして去年、私たち材料科は演舞・総合で準優勝、看板では優勝と今までで一番の結果を出すことができました。しかし、人間とは欲深い生き物で、どこか満足できず来年の体育祭では絶対に三冠として最高で最後の体育祭にしたいという欲が出てきました。そして今年、願望を願望だけで終わらせる気はなく、やるからには演舞で優勝だけでなく三冠取ってやるぜ！とやる気に満ちあふれていました。

しかし、ここで思わぬ壁が立ちはだかります。そうです、「新型コロナウイルス」です。コロナウイルスによって様々なイベントがなくなり、それだけでも十分ぴえんなのに体育祭がなくなってしまうたら、それはもうぴえんこえてばおん

そういった不安もありながらも団員達が私についてきてくれたおかげで、今年の材料科応援団は過去最高のパフォーマンスを見せることができると自負しております。コロナ疲れを吹っ飛ばせるような最高の演舞、是非ご覧ください！！

最後に、材料工学科しか勝たん！😡

殺陣長 新町英駿

今年はコロナで色々なものが奪われていきました。夜須研・文化部発表会・高専大会・彼女.....など例を挙げだすとキリがありません。

ということで今年の殺陣は、コロナの裏で光り輝いていたものを表現し、奪われた悔しさをぶつけたいと思います。

看板長 帆足夏央

逃げちゃだめだ逃げちゃだめだ逃げちゃだめだ逃げちゃだめだ逃げちゃだめだ逃げちゃだめだ逃げちゃだめだ逃げちゃだめだ逃げちゃだめだ逃げちゃだめだ

あ、そんなわけで今年は材料工学科のカラーである紫を表すために、新世紀エヴァンゲリオンを描きました！
いかがだったでしょうか？まだ見られてない方はお楽しみに！



制御科



応援団長 5年 香月 海良

今年も体育祭の時期がやってきました。今年はコロナの影響で例年より準備する期間が少ないのに、積極的に対面での練習ができなかったり、マスクを着用しての練習をしなければならなかったりなど、思い通りにいかないことがたくさんありました。しかし、その限られた期間でやることはやってきたと思います。どうぞ見ていってください。

これが私たちの「絶唱」だああああああ！！

座右の銘「CR 人生」

副団長 5年 312

シャドバやってる女の子と仲良くなりたい。

座右の銘「楽観主義」

太鼓 磯崎 遼斗

なんか気づいたら太鼓になってました。周りが全員パチンカス。

座右の銘「我が生涯に、一片の悔いなし」



ここで退くのは義に非ず朱に染った魂棒をぐぐと押しこみ御座候